

KANSAI*OSAKA

文化力

No. 120

2015 / SPRING・春

関西から

文化力
POWER OF CULTURE

平成27年度助成先決定

日本万国博覧会記念基金
アーツサポート関西(ASK)

・ASKが関西元気文化圏賞「ニューパワー賞」受賞
・平成26年度「大阪文化祭賞」受賞者発表

誌上シンポジウム

伝統と創造 野外舞台芸術で新たな大阪ブランドを

松本薫平氏・内藤里美氏・菅麻佳成氏

企業メセナ最前線

岩谷産業株式会社 会長兼CEO 牧野明次氏

平成26年度下半期事業報告

平成27年度 助成事業決定

日本万国博覧会記念基金事業

当協会承継後初の募集・審査を実施 国内外60事業に総額1億円を助成

昨年7月1日から公募していた平成27年度の日本万国博覧会記念基金(略称:万博記念基金)の助成事業が3ページの一覧のとおり60事業、総額1億円に決定しました(前年度は48事業・総額9200万円)。

万博記念基金事業は、独立行政法人日本万国博覧会記念機構の解散に伴い、平成26年4月1日付で関西・大阪21世紀協会が承継したもので、本年度より助成事業の募集・審査・選考から助成金の交付決定までを行いました。

平成27年の助成にあたっては、「国際文化交流、国際親善に寄与する活動」と「日本の伝統文化の伝承および振興活動」を重点テーマとして募集、その結果申請事業が大幅に増え、前年度の164件より54件多い218件の応募がありました。とくに文化的活動については、前年度までは50~100万円の範囲での助成に限定していましたが、今回より、100万円以上(上限400万円)の助成制度を加えた結果、前年度31件の応募が45件に増加しました。また、在阪の外国総領事館などに万博記念基金の周知を図ったことで、国外事業者から前年度より14件多い33件の応募がありました。

これらの申請された事業は、万博記念基金事業審査会(審査委員長:鷺田清一大谷大学教授)への諮問・答申



67団体88名が参加した平成27年度助成事業募集説明会
(平成26年8月7日/中之島センタービル)

を経て決定されました。

今回の特色は、戦後70周年関連事業や日韓国交正常化50周年の記念事業、東日本大震災被災地復興関連事業、日本の伝統文化では「能」公演への助成が目立ったこと。今年2月26日の審査会を終えた鷺田委員長は、「さまざまな分野の審査委員から多くの貴重なご意見をいただいた。まさに“人類の進歩と調和”という大阪万博の理念を後世に伝えるにふさわしい助成だ」と述べました。

採択事業紹介(一例)

戦後70周年関連事業への助成

事業名: **被爆70周年祈念 国連合唱団「平和と希望のコンサート~広島・長崎・東京公演~」**

事業者: 被爆70周年祈念国連合唱団
平和と希望のコンサート実行委員会

実施日: 平成27年7月31日~8月10日

助成額: 270万円

国連合唱団を日本に招き、被爆70周年を迎える広島・長崎と日本の首都・東京でコンサートなどによる市民交流に参加してもらうことで、恒久的な平和の願いと未来への希望を世界に発信する。



(写真提供: 被爆70周年祈念国連合唱団 平和と希望のコンサート実行委員会)

日韓国交正常化50周年記念事業への助成

事業名：日韓国交正常化50周年記念「日韓子どもシンポジウム」

事業者：社団法人釜山韓日文化交流協会

実施日：平成27年7月1日～11月30日

助成額：130万円

釜山と福岡の小学生20名に、ホームステイやシンポジウムなどのプログラムを通じてお互いの国の文化や歴史について勉強し、相互理解を深め、両国の未来と一緒に考えていく機会を提供する。



(写真提供：社団法人釜山韓日文化交流協会)

東日本大震災被災地での事業への助成

事業名：東北と世界を結ぶ祭博2015

事業者：大船渡復興まつり実行委員会

実施日：平成27年9月4日～28日

助成額：180万円

被災地の復興を目的に、地域と世界の郷土芸能によって被災地が世界と繋がるため、被災地復興の拠点でもある大船渡市で祭博を開催。まだまだ知られていない東北の文化・芸能を世界に発信する。



(写真提供：(株)東海新報社)

日本の伝統文化への助成

事業名：第59回大阪薪能

事業者：大阪薪能委員会

実施日：平成27年8月11日・12日

助成額：110万円

大阪の夏の風物詩として親しまれている「大阪薪能」。生國魂神社境内に特設舞台を組み、日没後、かがり火が照らし出す幽玄な雰囲気の中、能、狂言、仕舞などを上演。5流派(観世、喜多、金春、宝生、金剛)の能楽師および囃子方など、延べ100名あまりの出演者によって2日間にわたり実施する。



(写真提供：大阪薪能委員会)



平成27年度 日本万国博覧会記念基金助成事業 交付決定事業者一覧

国際文化交流、国際親善に寄与する活動

事業者名	事業名	助成金額(万円)
モザンビークのいのちをつなぐ会	アフリカ・マコンデ族の音楽と文化交流ツアー	170
特定非営利活動法人 大学コンソーシアム大阪	日台高等教育国際交流シンポジウム	100
公益財団法人京都文化交流コンベンションビューロー	琳派400年記念祭「琳派国際フォーラム」開催事業	260
認定特定非営利活動法人 ミュージック・シェアリング	交流プログラム2015 (学校訪問・写真展)	140
特定非営利活動法人 エデュケーション ガーディアンシップ グループ	第20回海外高校生による日本語スピーチコンテスト及び青少年のための異文化交流プログラム	160
大阪映像文化振興事業実行委員会	大阪アジア映画祭の開催・運営に係る事業	340
日蘭学生会議	第六回日蘭学生会議	130
日本陶磁器産業振興協会	2015年ミラノ国際博覧会 日本館イベント広場 出展事業 (テーマ:日本の器 日本の食卓)	460
被爆70周年祈念 国連合唱団 平和と希望のコンサート実行委員会	被爆70周年祈念 国連合唱団「平和と希望のコンサート」～広島・長崎・東京公演～	270
特定非営利活動法人 キンダーフィルムフェスト・きょうと	キンダーフィルムフェスト・きょうと 第21回京都国際子ども映画祭	100
一般社団法人 吹田にぎわい観光協会	万博記念公園日本庭園における地元在住留学生向け日本の伝統文化体験	40
公益財団法人 大阪国際交流センター	多文化共生国際シンポジウム～日本の未来に向けて～(仮称)	140
特定非営利活動法人 関西フィルハーモニー管弦楽団	関西フィルハーモニー管弦楽団 ヨーロッパ演奏旅行	280
一般社団法人 KIO	TACT/FEST 大阪国際児童青少年アートフェスティバル	320
一般財団法人 松本市芸術文化振興財団	まつもと市民芸術館10周年記念作品「スカパン」シビウ国際演劇祭公演	290
アース・セレブレーション実行委員会	アース・セレブレーション2015を通じた「スアール・アグン」と「鼓童」による日本インドネシア音楽芸術交流25周年記念事業	310
特定非営利活動法人 アースウォーカーズ	福島ドイツ高校生交流プロジェクト	100
大船渡復興まつり実行委員会	東北と世界を結ぶ祭博2015	180
チューリッヒ大学(スイス)	TENNO:美術と儀礼(国際会議)	110
(社)釜山韓日文化交流協会(韓国)	日韓国交正常化50周年記念「日韓子どもシンポジウム」	130
The National Museums of World Culture/Museum of Ethnography(スウェーデン)	2015年ストックホルム民族学博物館茶室「瑞鳴亭」整備事業	100
ジャパン・ソサエティー(アメリカ)	「万作の会」とジャパン・ソサエティー:友好50周年祝賀狂言鑑賞会:野村万作、野村萬斎、石田幸雄を迎えて	260
The Little Art (TLA)(パキスタン)	映画とニューメディアによる青少年のための文化振興	300
ゴッホ美術館(オランダ)	ゴッホ美術館収蔵の日本美術:フィンセント・ファン・ゴッホの目から見た日本美術の紹介	230
ポートランド日系アメリカ人市民同盟・ミニドカ・スウィング・バンド(アメリカ)	音楽で伝えよう日米の遺産と文化:ミニドカ・スウィング・バンド日本ツアー2015	290

日本の伝統文化の伝承及び振興活動

事業者名	事業名	助成金額(万円)
特定非営利活動法人 和歌の浦万葉新能の会	第17回 和歌の浦 万葉新能	80
能楽文化振興協会	日本の伝統の美 ～知って、歩いて、食べて、楽しむ 能楽講座～	50
野崎参道商店街振興組合	野崎観音 さくら能	70
大阪新能委員会	第59回大阪新能	110
公益財団法人 石川県音楽文化振興事業団	ふれあい伝統芸能ランド	80
特定非営利活動法人 日本伝統芸能振興会	グランド歌舞伎公演 呉服座・大阪公演	350
公益財団法人小田原文化財団	「上方の音、江戸の音～古浄瑠璃の魅力～」	150
久比岐能実行委員会	「第11回 久比岐能」	100

学術、教育、社会福祉、医療及び保健衛生に関する国際的な活動

事業者名	事業名	助成金額(万円)
第19回シトクロムP450国際会議組織委員会	第19回シトクロムP450国際会議	180
エコデザイン学会連合	第9回環境調和型設計とインバースマニュファクチャリングに関する国際シンポジウム	230
第6回Ⅲ族窒化物結晶成長国際シンポジウム組織委員会	第6回Ⅲ族窒化物結晶成長国際シンポジウム	220
一般財団法人千里文化財団	企画展「イメージの力 国立民族学博物館コレクションにさぐる」	240
国立民族学博物館	国立民族学博物館 平成27年度特別展「韓日食文化一食と博物館」(仮称)	240
非平衡系におけるゆらぎと構造の普遍法則を探る国際会議組織委員会	非平衡系におけるゆらぎと構造の普遍法則を探る国際会議	80
Transposition and Genome Engineering 2015 実行委員会	Transposition and Genome Engineering 2015 (トランスポゾン転移とゲノム編集技術に関する国際会議2015)	170
第8回国際分裂酵母会議実行委員会	第8回国際分裂酵母会議	200
第7回国際脳血管と認知症会議	第7回国際脳血管と認知症会議	220
一般社団法人 エレクトロニクス実装学会	ICEP-IAAC 2015	110
第21回国際運輸交通流理論シンポジウム実行委員会	第21回国際運輸交通流理論シンポジウム	140
高麗大学 日本研究センター(韓国)	高麗大学日本研究センター「日韓国交正常化50周年」企画<日本語叢書>刊行事業	220

自然の保護その他人間環境の保全に関する国際的な活動

事業者名	事業名	助成金額(万円)
第8回礫床河川国際会議実行委員会	第8回礫床河川に関する国際会議	150

芸術及び地域文化に関する活動

事業者名	事業名	助成金額(万円)
劇団青春座	劇団青春座創立70周年記念・第53回北九州芸術祭参加「久女の恋」演劇公演 橋本和子・作 井生定巳・演出	130
特定非営利活動法人アートアンドアーキテクトフェスタ	U-35 35歳以下の若手建築家による建築の展覧会2015	90
公益財団法人 大阪日本民芸館	民芸を通じて万博公園からスローライフ発信(大阪日本民芸館春季特別展記念講演会等の公演及び展示、秋季特別展記念講演会等の公演及び展示)	70
公益財団法人 東京都現代美術館	美術展覧会「オノ・ヨーコ 東京」	100
公益財団法人 日本センチュリー交響楽団	日本センチュリー交響楽団 第200回定期演奏会	140
関西吹奏楽連盟	プラスエキスポ'15	200
科学の祭典実行委員会 野外実験班	理科実験野外教室	70
東京国立近代美術館	フランソワ・バジェの音響彫刻の響き(仮称) 一 大阪万博「鉄鋼館」の現代音楽、その演奏とトークとワークショップ	90
一般社団法人 大阪コレギウム・ムジウム	第25回現代音楽シリーズ(大阪ハイブリッド・シュッツ室内合唱団第49回定期演奏会) <千原英喜と宮沢賢治～その魅力の音世界～>(シアターピース舞台作品として)	40
丹波ささやま 人形劇フェスタ実行委員会	丹波ささやま 人形劇フェスタ	60
箕面の森アートウォーク 実行委員会	箕面の森アートウォーク2015	70
一般財団法人 大阪国際児童文学振興財団	世界の国からこんにちは ー70年万博と世界の絵本展	70
劇団そとばこまち	七代目劇団そとばこまち第八回公演「廣作写楽」	110
和歌山市民オペラ協会	和歌山市民オペラ協会第20回定期公演 オペラ「夕鶴」	160



アーツサポート関西が「ニューパワー賞」受賞 平成26年度 関西元気文化圏賞贈呈式

アーツサポート関西(ASK)は、今年1月23日、リーガロイヤルホテル大阪において、関西元気文化圏推進協議会*が主宰する「平成26年度関西元気文化圏賞」のニューパワー賞を受賞した。

関西元気文化圏賞は、文化を通じて関西から日本を元気に明るくした人や団体などに対して、感謝と一層の活躍を期待して贈られるもの。なかでも「ニューパワー賞」は、とくに将来性が期待されるものに対して贈られる。

賞贈呈式で森詳介協議会会長は、「(ASKは)民の力で芸術・文化を支援する組織を立ち上げ、各界のタニマチ文化を復活させた。広く支援を募って地域の芸術・文化の芽を大きく育てる試みには、関西一円の個人や企業から大きな共感が寄せられ、今後の活動に大きな期待がかかっている」と称え、ASK運営委員長の鳥井信吾氏(サントリーホールディングス副社長)と運営委員の山本雅弘(毎日放送相談役最高顧問)に賞状と記念盾を贈呈した。

この後の祝賀会で鳥井氏は、「ASKは関西の人々の手で自分たちの文化を盛り上げようという市民運動で、現在200人のサポートメンバーがいる。支援をしていただ

いた方々が、「支援して良かった、楽しかった」と思っていただけのような仕組みづくりを念頭に、活動の輪を広げて行きたい」と受賞の喜びを語った。

*関西元気文化圏推進協議会

2003年に文化庁長官に就任した故・河合隼雄氏の呼びかけを受け、関西と近隣の2府8県(京都・大阪・滋賀・兵庫・奈良・和歌山・三重・福井・徳島・鳥取)や経済団体、報道機関などで結成。会長：森詳介関西経済連合会会長、副会長：堀井良殿関西・大阪21世紀協合理事長(2015年3月現在)。



鳥井信吾氏(祝賀会にて)

平成26年度の各賞受賞者(敬称略)

- 大賞**：あべのハルカス(近畿日本鉄道株式会社)
特別賞：宝塚歌劇団、公益財団法人祇園祭山鉾連合会
ニューパワー賞：アーツサポート関西、上地結衣(車いすプロテニス選手)、鈴木愛(プロゴルフ選手)、春野恵子(浪曲師)

メセナ協議会主催の国際会議でASKの活動をプレゼンテーション

関西・大阪21世紀協会の佐々木洋三専務理事は、今年3月7～8日に開催された企業メセナ協議会の設立25周年を記念する国際会議「文化は資本だ・創造経済と社会創造」で、アーツサポート関西の取り組みについてプレゼンテーションを行った。同会議のセッションのひとつ「プレゼン・カフェ(8日)」で、マレーシアやチリの文化芸術プロジェクト関係者らとともにプレゼンターとして出席した。佐々木専務理事は、ASK運営のしくみや助成例、申請状況などを説明するなかで、寄付金がどのように活かされ喜ばれているかを支援者に伝える「支援の見える化」の重要性を強調した。

また、その後のディスカッションでは、参加者から「どのようにして助成先を選考したのか?」「助成後の評価・検証はどのようにするのか?」「ファンドレイジングパーティーでは、どのようにして1650人も集めたのか?」など多くの質問が出され、ASKに対する関心の高さが伺えた。



佐々木洋三専務理事
(撮影: Shinya Nagatomi)



プレゼンカフェ実施風景



平成27年度 公募助成事業決定

アーツサポート関西

26件の事業に総額975万円を助成
申請195件、ASKへの期待集まる

アーツサポート関西(ASK)は、市民が力を合わせて芸術・文化に寄り添い、育てていく取り組みとして、昨年4月に設立されました。財布の紐が固いといわれる関西で、はたして寄付は集まるのかと不安含みのスタートでしたが、1年間に集まった寄付は4000万円を超えました(昨年5月8日のチャリティ・ファンディング・パーティーの収益金など2400万円を含む)。予想を大きく上回る寄付額に、芸術・文化支援に対する人々の意識の高さや、関西の文化力向上への期待の大きさが伺えました。この寄付のなかには、特定型個別寄金*として設けられた「京阪神ビルディング文楽支援基金」や「寺田千代乃上方落語若手噺家支援寄金」なども含まれ、平成26年度は、その中から文楽や上方落語などの振興に総額600万円が充てられました。

また、昨年10~12月にかけて平成27年度の助成事業を公募したところ、1000万円の助成予算に対し、総額1億8000万円を超える195件もの助成申請がありました(一般

申請:指定のない寄付を原資とするもの)。アーティストからASKに寄せられる期待の大きさも、予想を大きく上回るものでした。このなかから専門家による評価・審査を経て26件・総額975万円の助成先が決定し、4月から順次助成金が交付されます。

助成申請は大阪・関西を中心に東京や海外からもあり、ASKに対する注目と期待が広く浸透していることが伺えます。今回選出された助成先のジャンルは、演劇、ダンス、音楽、美術、伝統芸能などと幅広く、大きな劇団の活動から学生の演劇祭、若手アーティストの海外公演、市民合唱団の練習場支援など、活動内容も多岐にわたりました。

*特定型個別寄金

寄付者が好きな名称を冠した個別寄金を作り、特定の団体を指定して助成支援を行なうもの。助成先についてはASK評価・審査委員会およびASK運営委員会が適否審査を行い、関西・大阪21世紀協会の理事会の承認を経て決定される。

採択事業紹介(一例)

事業名: **釜ヶ崎大学2015 in 西成高校・鶴見橋中学校**

事業者: 特定非営利活動法人 こえとことばとこころの部屋

実施日: 平成27年4月~平成28年3月
(西成市民館、西成高校、鶴見橋中学校など)

助成額: 60万円

釜ヶ崎と呼ばれる地域を会場として、書道、芸術、詩などのワークショップを実施。講師と受講者が互いに学ぶ喜びを知り、生きる力を見いだす。さらに、地域で暮らす若者たちに生き方を考えるための働きかけを行うなど、教育と地域性を活かしたアートの先駆的で創造的な活動を行う。



(撮影: 仲川あい)

事業名: **Dance Company BABY-Q 新作公演&インスタレーション**

事業者: Dance Company BABY-Q

実施日: 平成27年6月15~27日(元・立誠小学校[京都市])

助成額: 70万円

カンパニー設立から15年、国内外で豊富な公演実績を重ね、今年再び関西に戻って新作を発表。オルタナティブ/サブカルチャーシーンから舞台芸術へと活動の場を広げてきたBABY-Qの前向きなメッセージを伝え、関西のダンスシーンの活性化と新たな観客の開拓をめざす。



(撮影: 井上嘉和)

事業名：下鴨車窓 #12 アジアツアー「漂着 island」

事業者：田辺剛(劇作家・演出家「下鴨車窓」主宰)

実施日：平成27年6月(京都、香港、マカオ)、7月(大阪)、8月(三重・東京)

助成額：50万円

香港とマカオの公演は、香港の演劇フェスティバルからの招聘。国内外での創作活動を方針とする「下鴨車窓」では、この機会を活かして「アジアツアー」と銘打ち、海外にはあまり知られていない「関西の現代演劇」の存在を示すと共に、関西と香港、マカオの文化交流の促進をめざす。



(撮影：築地静香)

平成27年度 アーツサポート関西 助成先

一般申請 (交付額順)

分野	申請者	活動名 (活動期間)	交付額 (万円)
演劇	維新派	神々の戯れ (仮) (7/18~28)	100
音楽	一般財団法人住友生命福祉文化財団	新・音楽の未来への旅シリーズ いずみシンフォニッタ大阪 第35回定期演奏会 (7/18)	80
複合	プレーカープロジェクト 実行委員会	地域に根差した創造活動拠点の実験 2014-2015 (5/1~H28年3/31)	80
ダンス	Dance Company BABY-Q	Dance Company BABY-Q 新作公演 & インスタレーション (会場：京都市 元・立誠小学校講堂) (6/15~27)	70
複合	特定非営利活動法人 こえとことばとこころの 部屋	釜ヶ崎大学 2015 in 西成高校・ 鶴見橋中学校 (4月~H28年3月)	60
映像・ 映画	タチヨナ・ プロジェクト	Kansai 近所映画クラブ (会場：府立江之子島文化芸術創造センター、 淡路島アートセンター他) (5月~8月)	55
伝統 芸能	あべのハルカス 歌舞伎実行委員会 (仮称)	あべのハルカス歌舞伎 (仮称) (会場：近鉄アート館) (7/31~8/2)	50
演劇	田辺 剛 (下鴨車窓)	下鴨車窓 #12 アジアツアー 「漂着 island」 (6月(京都、香港、マカオ)、 7月(大阪)、8月(三重・東京))	50
美術 デザイン	KUNSTARZT	ディズニー美術 (4/28~5/10)	40
ダンス	曾根 知	日本・イスラエル国際プロジェクト (会場：京都芸術センター) (8/3~9)	40
美術 デザイン	東山アーティスト プレイメントサービ ス実行委員会	HONESTY AND MODESTY 2 まちにアーティストが「住む」ことを考える (8/28~9/6)	40
ダンス	Dance Fanfare Kyoto 実行委員会	Dance Fanfare Kyoto 03 (会場：京都市 元・立誠小学校他) (5/25~31)	30
演劇	劇団 五期会	劇団五期会第69回公演 「タイトルロールの男たち」(仮) (12/27~29)	30

一般申請 (交付額順)

分野	申請者	活動名 (活動期間)	交付額 (万円)
演劇	工藤俊介プロデュース プロジェクト KUTO-10	工藤俊介プロデュース プロジェクト KUTO-10 第15回公演「骨から星へ」 (H28年3/17-20(大阪) H28年3/24-27(東京))	30
ダンス	京極 朋彦	京極朋彦ダンス企画 「talking about it」 (ウィーンレジデンス公演) (8/3~19 11/9~30)	30
ダンス	MuDA (むーだ)	MuDA ブルガリア~インドネシアツアー 2015 (8月末~9月上旬)	30
演劇	大阪短編学生演劇祭 実行委員会	第2回大阪短編学生演劇祭 (9/12~13)	20
音楽	ながらの座・座	場所との対話「今の音楽・居間の音楽II」 (10/26~11/1)	20
伝統 芸能	釜ヶ崎狂言会 実行委員会	釜ヶ崎狂言会 (会場：太子会館老人憩の家など) (4月~7月の隔週1日、8/3~8)	20
演劇	株式会社 INDEPENDENT	最強の一人芝居フェスティバル 「INDEPENDENT: 15」(11/26~29)	20
音楽	全国学生演劇祭 実行委員会	全国学生演劇祭2016 (H28年2/24~2/28)	20
音楽	羽曳野少年少女 合唱団	定期練習の場所の使用料 (通年)	16
演劇	Communication complex	Sleeper Hallucination Camping (8/29)	14

個別基金申請

寄金名	事業者/活動名 (活動期間)	交付額 (万円)
匿名寄金 NO.2 (指定分野なし)	ユリイカ百貨店/Dramatic MEOTO Reading (11/22)	10
カナオカ寄金 (指定分野なし)	新長田アート commons 実行委員会/下町 芸術祭~長田アート commons~ 「待ったいたるわ、いっぺんやってみい」 (10/31~11/13)	10
アйдマ寄金 (指定分野：美術・デザイン)	「ERROR」展実行委員会/安東睦郎・黒木結 「ERROR」展 (仮) (9/12~9/27)	10

特定型個別基金 (申込順)

寄付者	寄金名称	助成対象活動	寄付額・助成額 (万円)	指定の助成先
京阪神ビルディング 株式会社	京阪神ビルディング文楽支援寄金	そうだ！文楽に行こう *ワンコインで文楽。2015	250 (H27年度助成額)	特定非営利活動法人 人形浄瑠璃文楽座
匿名	匿名寄金 (No.3)	①第263回定期演奏会 ②大阪市公会堂特別演奏会 ③児童養護施設「希望館」との交流事業	300 (H26年度助成)	特定非営利活動法人 関西フィルハーモニー管弦楽団
香川芳江	日本舞踊普及支援寄金	花柳流 波吟の会「ゆかた会」	100	花柳流 波吟の会
興口 修	興口寄金	国内外のアートフェアへの参加事業	5	社会福祉法人 素王会 アトリエ・インカーブ
寺田千代乃	寺田千代乃 上方落語若手噺家支援寄金	上方落語若手噺家グランプリ	500 (寄付額) 50、50 (H26、H27年度助成額)	公益社団法人 上方落語協会
一般社団法人 大阪青年会議所	大阪青年会議所文化支援寄金	阪南市の市立小学校の合同演奏会	31	一般社団法人 大阪市音楽団

特定型個別寄金



若手噺家の育成を支援

「寺田千代乃 上方落語若手噺家支援寄金」

アートコーポレーション株式会社の寺田千代乃社長から、アーツサポート関西へ500万円の寄付があり、特定型個別寄金「寺田千代乃 上方落語若手噺家支援寄金」が設けられた。この寄金による助成で、「上方落語若手噺家グランプリ」が開催される。

上方落語の伝統継承と若手噺家の育成を目的とした同グランプリは、天満天神繁昌亭(大阪北区)を会場に、入門6~15年の若手噺家31名を対象に開催。予選は主に上方落語協会の風紀委員会(桂春若委員長)が審査し、本選では在阪テレビ局のプロデューサーらが審査員となり、優秀者には賞金が贈呈される。

今年2月24日、天満天神繁昌亭で記者発表が行われ、寺田社長から上方落語協会の桂文枝会長に目録が手渡された。寺田社長は、「財界活動に参加するなかで、大阪の文化の重要性を認識、日本の伝統文化であり大阪の貴重なブランド資源である上方落語を支援しようとASKを通じての寄付を思い立った」と思いを述べ、桂文枝氏は、「このグランプリをきっかけに、若手噺家のテレビやラジオに出る機会が、もっと増えて欲しい」と、次代のスター作りに期待を寄せた。上方落語若手噺家グランプリは4月7、14、16、22日に予選、6月23日に本選が行われる。



寺田千代乃氏(右)と桂文枝氏(左)



天満天神繁昌亭

京阪神ビルディング文楽支援基金

2年目を迎えた「そうだ!文楽に行こう」

アーツサポート関西の支援第一号となった「京阪神ビルディング文楽支援寄金(500万円)」が今年度2年目を迎え、若者を国立文楽劇場の文楽公演に招待する活動「そうだ!文楽に行こう」を引き続き助成することとなった。

この活動は、これまでNPO法人人形浄瑠璃文楽座が文楽の鑑賞歴が浅い初心者を対象に開催してきた解説付きの観劇会で、寄金はその「学生版」への助成。関西圏の大学生や専門学校生を対象に、日本の伝統文化に触れることで自己啓発を促し、その魅力を自分の言葉で内外に発信できるグローバルな人材育成を期待している。参加費が一人500円と安いことから「ワンコイン文楽」とも呼ばれ、昨年度は定員を上回る520名の学生が参加し好評を博した。

今年度は2015年7月から2016年1月の公演中での開催を予定。定員は420名で、各校に募集要項が配布される。

京阪神ビルディング株式会社(大阪市中央区・中野健二郎社長)は、同寄金の設立を機に従業員にも文楽鑑賞を推奨するなど、地域に根ざした企業として大阪発祥の伝統文化の継承・発展に力を入れている。



(写真提供: NPO法人人形浄瑠璃文楽座)

助成に関する受付・お問合せ

アートサポート関西 事務局
公益財団法人 関西・大阪21世紀協会内

〒530-6691 大阪市北区中之島6-2-27 中之島センタービル29階

TEL 06-7507-2004 FAX 06-7507-5945

Email ask@osaka21.or.jp

伝統と創造

野外舞台芸術で新たな大阪ブランドを

世界で各都市がその魅力を競う中で、いま都市の文化力が問われている。劇場や博物館、美術館が充実していることは、もとより重要である。それに加えて、その都市固有の歴史的な文化資産を活用して芸術的空間を創造することが大きな魅力になる。大阪城を舞台に関西の優れたアーティストの発表の場を設ける「大阪城サマーフェスティバル」は、毎年70万人が訪れるイベントとして定着してきた。その出演者と実行委員が集まり、野外舞台芸術の可能性を話し合った。

出席

松本薫平氏

(オペラ歌手)

内藤里美氏

(オペラ歌手)

當麻佳成氏

大阪城サマーフェスティバル実行委員会メンバー
毎日放送 経営戦略室 シニアアドバイザー

佐々木洋三

大阪城サマーフェスティバル実行委員会事務局長

司会進行

堀井良殷

関西・大阪21世紀協会理事長





松本薫平氏



内藤里美氏

水上オペラの可能性

堀井 都市空間の劇場化は、関西・大阪21世紀協会が永年取り組んできた課題です。ただ賑やかに人目を引くだけのイベントをするのではなく、市民の創造的活動の発表の場として蓄積され、地域の文化力の底上げに貢献するプログラムとして実施することが重要だと考えてきました。アーティストが劇場での公演だけでなく、野外に飛び出して観客の層を広げることで大きなインパクトが生まれます。これまで、大阪城の西の丸庭園や大手門前、そして大阪城ホール側の川を舞台に非日常的な創造的空間をつくる試みを積み重ねて

きましたが、そのまとめ役をしている佐々木さんから話してください。

佐々木 大阪城サマーフェスティバルは、コンサートや演劇、伝統芸能公演、グルメイベントなどの各主催者が連携し、大阪城公園を中心に波動的に展開する大コラボレーションイベントです。「大阪城」の知名度と各主催団体が連携するスケールメリットを利用して、単独開催と比べて宣伝の費用対効果を高めたり、賑わいの相乗効果を生み出そうというものです。2006年に大阪21世紀協会(当時)の働きかけで大阪府や大阪市、在阪の放送局やホールなどで実行委員会をつくり、第1回を開催しました。昨年は第9回を迎え、大阪の夏の風物詩として定着しつつあります。とくに2012年度は、大手門広場を使ってオペラやダンスを披露する「オープニング・ガラ」や、西の丸庭園の特設ステージで夕暮れの大阪城天守閣をバックに高校吹奏楽部の競演などを協会主催で行ないました。とても好評で毎年続けてほしいという要望が多かったのですが、2013年度からは西の丸庭園がモトクロスレス会場になり、中断を余儀なくされています。高校吹奏楽を指揮・監修された藤岡幸夫さん(関西フィルハーモニー管弦楽団首席指揮者)は、「世界各地でタクトを振ったが、大阪城をバックに演奏できる西の丸庭園は、ここにおいて他にはない。胸をはって誇れる場所なのに、大阪はどうしてもっと有効活用しないのか」と言っておられます。

堀井 昨年、協会は、大阪城天守閣を望む第二寝屋川で「水上オペラ」を開催しました。これも社会実験のひとつですが、ご出演いただいた松本さん、内藤さんは、どのような感想を持たれましたか。



堀井良殷

松本 水上オペラでは企画やキャスティングもさせていただきました。音響や船上での舞台設定など厳しい制約がありましたが、スタッフの方々が見事にクリアしていただきました。また、出演する私たちも、舞台設備や生のオーケストラなどにこだわらず、いろんな場所で、いろんな形のオペラが上演できることを実感しました。

内藤 船の上から対岸のお客様に向かって歌ったり、生演奏ではなくカラオケだったり、普段とは場所や方法が異なるので戸惑いもありましたが、実際にやってみてすごく楽しかったです。橋の上や岸边など、自由なスタイルでご覧いただけたのも良かったですね。なにより大阪城が背景というのは、アピール力が大きい。まちを劇場化するのであれば、水上オペラをコアイベントとして、大阪城公園を全部使って音楽や演劇など、さまざまな周辺イベントを展開し、それらをまとめて「水都大阪劇場」にするってというのはどうでしょうか。

堀井 それは面白いですね。現在の大阪城天守閣は市民の募金で作られたもので、いわば大阪人の心意気の詰まっ



大阪城西の丸ステージウィーク（2012年7月・西の丸庭園特設ステージ）

た場所。その意味で、スコットランドの「エディンバラ・フェスティバル」のように、ここを拠点に大阪の歴史・文化を活かし、新たな創造を加えた賑わいをつくりたいと思っています。當麻さんもエディンバラ・フェスティバルをご覧になられましたね。

エディンバラ・フェスティバル

當麻 私は2013年8月に見に行きました。エディンバラ・フェスティバルは、1947年に始まった「エディンバラ国際フェスティバル」が始まりです。当時は、第二次世界大戦後の暗いムードの払拭や、スコットランドの首都エディンバラの衰退を文化の力で復興しようという思いがあったのでしょう。中心のエディンバラ城はスコットランド人の魂ともいべき場所で、現在は、そこでバクパイブ演奏やダンスが披露される4000人規模の「ミリタリー・タウ（軍楽隊の公演）」が連夜上演され、その開催期間に合わせて世界トップクラスのアーティストを招聘し、市内各所のホールで演劇やオペラ、ダンスパフォーマンスなどが開催されます。さらにそのフリンジ（周辺イベント）として、教会や飲食店などを会場にして、さまざまな自主公演が開催されます。日本人が来て英語落語会やコント劇などもやっていました。「エディンバラ・フェスティバル」というのは、そうした複数の芸術・文化の祭典の総称です。

佐々木 エディンバラ市は人口約45万人のまちですが、フェスティバルの期間の一夏に200万人もの観光客が訪れるそうです。フリンジがお目当ての人も多く、韓国の「NANTA（台所器具を使うパフォーマンス）」もここで成功を収め、世界的に知られるようになりました。

當麻 フリンジはエディンバラ国際フェスティバルに便乗して自然発生的に生まれたものですが、ショーケースのような面白



當麻佳成氏



佐々木洋三

さがあります。多くのファンがついているものもあり、その集客力には興行家たちも大きな関心を寄せています。まさに文化の力で、「エディンバラ」というまちの存在感を見せつけているのです。大阪城サマーフェスティバルもそうなればいいですね。



大阪城サマーフェスティバル「オープニング・ガラ」
(2012年7月・大阪城大手門前広場)

出演の機会を増やす

堀井 話は戻りますが、水上オペラをご覧いただいた人の感想のなかで、とても嬉しかったものが二つあります。一つは「普段見慣れた場所がこの日に限って別世界のように感じた」というもの。二つ目が、「内藤さんや松本さんのような素晴らしいアーティストが私たちのすぐ近くにいることを知り、一度でファンになった」というものです。私たちは、お二人のような素晴らしいアーティストをもっと多くの人に知っていただきたいと思っています。出演機会が増えれば、若いアーティストの励みにもなります。

内藤 ありがとうございます。私は神戸市が設立した公益財団法人神戸市演奏協会の混声合唱団に所属しています。この団体は、神戸市に根ざした活動として、各区民センターでのコンサートや無料コンサートを頻繁に開催しています。とくに昼間の公演はいつも満席に近いです。一度ファンになっていただいた方のリピート率はとても高いです。なかには年間パスをお持ちの方も多く、それをステータスのように感じていただいています。

松本 関西では今、兵庫県立芸術文化センターやびわ湖ホールがすごく頑張っていて、兵庫県立芸術文化センターはオペラの公演を10日間ぐらい行いますが、平日のマチネ(昼公演)でも完売になるくらいです。こんなことは東京の新国立劇場でもないんじゃないでしょうか。ただ一つ残念なことは、関西のホールであるにもかかわらず、あまり関西の若手が出演できてないことです。素晴らしい才能を持った関西の歌手はたくさんいます。オーディションなどのチャンスをもう少しいただけると、歌手の目標や励みにもなり、関西の音楽界、音楽界が盛り上がっていくと思うのですが。

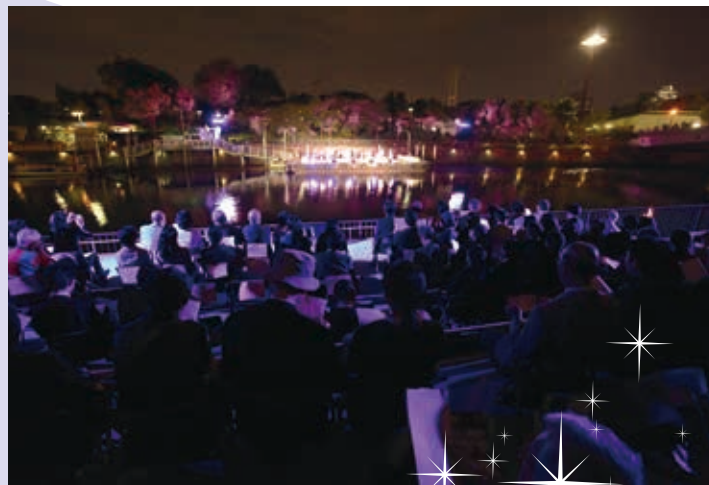
堀井 音楽家の経歴に、どこかのどんな公演に出たかとか、どんなコンクールで受賞したかとかが書かれていますが、関西でもそうした箔付けが必要なのでしょうか。

松本 経歴にこだわるのは日本人の特徴で、仕方のないことかもしれませんが、外国の人は聴いて良かったらちゃんと評価してくれて「ブラボー」といってくれます。逆に出来が悪いとブーイングされそうですけれどね。国際コンクールで入賞した

水上オペラ 大阪城 ガラ・ナイト

2014年10月4日／大阪水上バス乗り場「大阪城港」周辺
主催：関西・大阪21世紀協会

「水都の川面に響き渡る美しきアリア」をキャッチフレーズに開催された、大阪城フェスティバル2014のフィナーレともいべき野外オペラ公演。大阪水上バス「大阪城港」船着場がある第二寝屋川に舞台をつくり、大阪城新橋、川面に浮かべた小船なども使って、オペラ「カルメン」の代表的な場面と「ホフマンの舟歌」「Let it go(ありのまま)」などアリア12曲を披露した。出演は松本薫平氏、内藤里美氏、八木寿子氏をはじめ、関西を拠点に活動するオペラ歌手やフラメンコダンサーら8名。音楽監修・指揮に関西フィルハーモニー管弦楽団首席指揮者の藤岡幸夫氏を迎え、東海大学付属仰星高等学校吹奏楽部も参加した。大阪城天守閣をバックに、水面に映える色とりどりの照明のなか、迫力のある歌声や華麗な踊りが2時間半にわたって展開され、多くの観衆がその劇的空間に魅せられた。終演後のアンケートでは「本当に感動した」「これが大阪の風景なのか」「これからも続けてほしい」という声が多く寄せられた。



メインステージ遠景

人だから「ブラボー」ではないのです。是非生の音楽を聴きに行き判断してほしいと思います。ただその演奏会を聴きに行くきっかけとして、経歴などプロフィールは必要なのかもしれません。

楽しいヨーロッパの都市

堀井 お二人は海外ではどのようなご経験がございましたか。

松本 私はミラノ(イタリア)に住んでいました。夏になると、アレナ・ディ・ヴェローナという古代ローマ時代の屋外闘技場で野外オペラ公演が行なわれ、ドイツやフランスなどからやって来た多くの外国人観光客で賑わいます。夜9時ごろから上演するので、観客はローソクを立ててムードを出したり、ワインやパニーニ(イタリアのサンドイッチ)を食べながら気軽に観ています。ビールの売り子なんか、「一曲歌うから、うまいと思ったら買ってこれ」といってオペラアリアを歌い出すこともあります。彼らはクラシックを勉強しているわけではないんですよ。

内藤 私はドイツのエアフルト歌劇場とゲスト契約をしていました。エアフルトではサマーフェスティバルがあり、毎年多くの観光客で賑わいます。本来、夏はコンサートが少ないのですが、このときばかりは歌劇場だけでなく、教会の大聖堂の野外階段を舞台にしてオペラを上演するんです。大聖堂は周りが広場になっていて、ちょうど大阪城西の丸庭園で演奏会をやるような感じになります。ドイツには市に一つずつ市営劇場があり、市と連携した企画も行なわれます。



堀井 大阪にオペラ専用劇場はありませんが、大阪城周辺にはクラシック専用のいずみホールをはじめ、NHKホールやフェスティバルホール、ザ・シンフォニーホール、オリックス劇場、シアターBRAVA!などがあります。これらが一年のある期間、一つのテーマで連携して集中的に公演を打てば、大阪もミラノやエアフルトのようにまち全体で盛り上がると思いますね。

カルチュラルオリンピアド

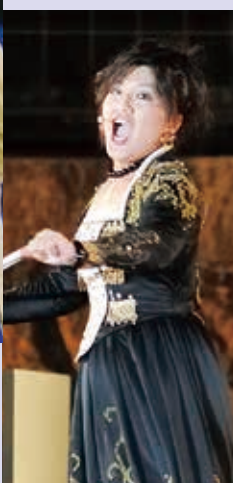
佐々木 2020年の東京オリンピック・パラリンピックでは、2000万人のインバウンド(観光や商用などで来日する外国人)が見込まれ、大阪でも800万人の集客を目指しています。そして今、「地方創生」の掛け声とともに、地方都市もインバウンドによって国際交流や文化・経済の発展の契機にしようと、国をあげてさまざまな文化プログラム「カルチュラルオリンピアド」が進められつつあります。一方、関西では、東京五



内藤里美氏



松本薫平氏



八木寿子氏



メインステージ前の川に浮べた小舟で歌う内藤氏(右)と八木氏(左)



輪と前後して2019年にラグビーワールドカップ、2021年には生涯スポーツの国際大会である関西ワールドマスターズゲームズが予定されており、スポーツツーリズムを通して各地域の文化や魅力を発信し、活性化につなげる重要な時期を迎えます。

堀井 大阪の文化力を世界に示す絶好のチャンスですね。関西・大阪21世紀協会もカルチュラルオリンピックに参画し、大阪城フェスティバルなどで培ったネットワーク型のコラボレーション手法によって、文化プログラムのセンター機能を果たしたいと思っています。そのためには、協会の各種文化事業や日本万博記念基金事業、ASK(アーツサポート関西)などが有機的に関連し、総合力を発揮することが重要です。佐々木さんは、具体的にどのようなアイデアがありますか。

佐々木 例えば2017年に開催される「食博覧会・大阪」の活用が考えられます。これは4年ごとに開催されるいわば「食のオリンピック」で、関西・大阪21世紀協会は1985年の第1回から主催団体の一員として協力してきました。前回は2013年に開催され、11日間で65万人以上が来場し、12億円の事業規模でした。私は、これをカルチュラルオリンピックの一連の流れと関連させることができると思います。食博こそは、関西の和食を世界に発信するチャンスです。食と音楽や関西の伝統芸能などをコラボレートして発信することもできるでしょう。こうした文化プログラムは、2015年5月ぐらいまでに自治体から政府に案を出せば、国の助成金を受けられる可能性があります。今、こうした複合的な戦略を立てて実行すべき時期にあるのです。

堀井 大阪へのインバウンドが増えれば、おのずとその地域の文化度が問われます。その意味でも、伝統文化だけではなく、西洋音楽であるオペラやクラシックも皆で楽しめる文化環境でないと魅力的なまちとはいえません。水上オペラはそのための社会実験でしたが、内藤さんは、もっと多くの方々にオペラを楽しんでいただくために、どのような手法があると思われますか。

食と音楽

内藤 親子で楽しめるように「ヘンゼルとグレーテル」などのよく知られた物語を日本語でやる場合があります。また、ストーリーをご存知ない方のために日本語字幕を付けてもいいですね。そうすることで、少しでも多くの方に馴染んでいただけるのではないかと思います。

松本 音楽と食はとても密接しているものだと思います。ヨーロッパではコンサートを聴いた後で食事に繰り出し、美味しいものを食べながら美味しいお酒を飲みながら、今日聴いた演奏の話に花を咲かせます。そんな楽しみ方もあることを知ってほしいですね。しかしこんなことをいうと、またクラシックはハードルが高いと思われるかもしれませんが、ヨーロッパの劇場には立ち見席など、若い人が気軽に足を運べるような安い席があります。是非日本の劇場もそうした取り組みをしてほしいと思います。

當麻 昨年、アーツサポート関西で「京阪神ビルディング文楽支援寄金」が創設され、国立文楽劇場で関西の大学生や専門学校生などがワンコイン(500円)で文楽を楽しめる機会を作りました。開演前には文楽技芸員の解説もあり、伝統芸能をより身近に楽しんでもらう工夫も好評でした。

堀井 観客を増やすには、安い料金で芸術・文化を楽しむ仕組みを充実させることも大事ですね。

當麻 おっしゃる通りですが、興行主としては赤字が怖いですから、席が十分に埋まらない公演の入場料を安く設定しにくい事情があります。そこで、例えば夏休みや大阪城フェスティバル期間中などに限定して安い席を作ったり、周辺のレストランなどと連携して食事券付きのチケットを作るなどの工夫をすれば、より多くの方々にご来場いただきやすいのではないのでしょうか。大阪の多彩な食文化も発信できます。

堀井 大阪には、そうした文化的ポテンシャルがいくらでもある。今後も芸術・文化の楽しみを社会に広げ、浸透させ、まちの活性化につなげていきたいと思っています。ありがとうございました。

(2015年2月2日・追手門学院 大阪城スクエアにて)

松本薫平氏(オペラ歌手)

東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。高橋大海、フィオレンツァ、コッソット、イーヴォ・ヴイング、エディット・マルテッリ、ダンテ・マーツォーラの各氏に師事。1999年関西二期会35周年記念オペラ「ラ・ボエーム」のロドルフォでデビュー後、オペラ作品に多数出演。平成20年度咲くやこの花賞、第4回神戸キワニス文化賞など受賞。

内藤里美氏(オペラ歌手)

大阪音楽大学卒業、同大学院オペラ研究室修了。ウィーン国立音楽大学音楽セミナーマスタークラスディプロマ取得、プラハ国際ヴォーカルマスタークラスディプロマ取得。2006年11月よりドイツ・エアフルト歌劇場とゲスト契約。NHK名曲リサイタル、クラシック倶楽部などの出演をはじめ、国内外のオペラ作品に多数出演。

平成26年度 大阪文化祭賞

最優秀賞を山村友五郎さんに贈呈

大阪府内全公演のなかから決定

大阪の文化・芸術分野で際立った活躍をし、優れた公演を行った人や団体を顕彰する大阪文化祭賞(主催：大阪府、大阪市、関西・大阪21世紀協会)。51回目となる平成26年度からは、従来の5～6月開催公演のエントリー制を改め、年間を通して大阪府内で開催されたすべての公演が審査対象となった(今年度は5～12月が対象期間)。

ジャンルはこれまで通り「伝統芸能・邦舞・邦楽(第1部門)」「現代演劇・大衆芸能(第2部門)」「洋舞・洋楽(第3部門)」で、関西の著名な芸術家や文化人らによる審査委員会で最終選考を行い、各賞が決定した。

そのなかで、各部門を通じてもっとも優れた成果を上げた公演に贈られる最優秀賞は、昨年7月に日本舞踊・山村流の流祖「友五郎」を120年ぶりに襲名した山村流六世宗家の三代目山村友五郎さんに決定。昨年9月に国立文楽劇場(大阪市)で行われた「三代目山村友五郎・四代目山村若 襲名披露舞扇会」を主催した友五郎さんが、「流儀の一門ばかりか日本舞踊会を代表する各流派元も招いて、邦舞の祭典ともいえる花も実もある舞台を展開したことは、上方舞のよさを一般に広く再認識させるとともに、大阪の伝統文化を活性化させる意義深いものであった」と高く評価された。

今年3月10日、リーガロイヤルNCB(大阪市北区)において、各賞の贈呈式と友五郎さんの受賞記念公演が行われた。松井一郎大阪府知事から表彰を受けた友五郎さんは、「早逝した母(五世宗家)は、友五郎の襲名を強く望んでいた。母の33回忌にあたる年に、このような素晴らしい賞をいただきとても嬉しい」と受賞の喜びを述べ、長男の四代目山村若さんと祝舞「八千代獅子」を披露した。また、この日の記者懇談会では、「友五郎襲名が大阪の伝統文化を活性化の一助になれば嬉しい。初代友五郎の作品も復活させたい」と三代目の意気込みを語った。

賞贈呈式では、奨励賞を受賞した関西弦楽四重奏団も記念公演を行った。

三代目山村友五郎さん(右)と四代目山村若さん(左)(受賞記念公演にて)



三代目 山村友五郎さん(右)

昭和39(1964)年大阪生まれ。祖母(四世宗家若)や母(糸・五世宗家)のもとで幼少より修業。現在、山村流舞踊会「舞扇会」を主宰するほか、東京の舞踊家と「五耀會」公演を定期的に開催し全国的に注目される。一門の育成指導、歌舞伎、文楽、宝塚歌劇などの振付、舞踊指導にもあたる。国立文楽劇場養成科講師、宝塚歌劇団日本舞踊講師、大阪芸術大学舞台芸術学科非常勤講師。

関西・大阪21世紀協会は、大阪文化祭賞を芸術・文化分野における人材の発掘や育成、交流事業の一環として重視し、受賞者の記者懇談会や記念公演を主催するな



関西弦楽四重奏団による受賞記念公演

どアピールに努めている。また、受賞者の一層の励みとなるよう、副賞賞金や記念盾も提供している。

平成26年度の各賞受賞者

■最優秀賞(副賞50万円)

- 舞扇会主催 山村流六世宗家 山村友五郎
「三代目山村友五郎・四代目 山村若 襲名披露舞扇会」の成果

■優秀賞((副賞15万円)

- 維新派「透視図」の成果
- いずみホール「いずみホール・オペラ2014 歌劇 フィガロの結婚」の成果

■奨励賞(副賞5万円)

- 第24回上方歌舞伎会出演者一同「第24回 上方歌舞伎会」の成果
- 林家花丸「林家花丸独演会～人と人、情と情」の成果
- 安積瑠璃子「大阪バレエ・カンパニー公演 『海賊』における主役メドーラ」の成果
- 関西弦楽四重奏団「関西弦楽四重奏団」演奏会の成果



「住みよい地球」を願い さまざまな社会貢献活動を推進

幼少期の貴重な体験

大阪で生まれ育った私は、父が松竹の顧問医をしていた関係で、幼い頃は父に連れられて文楽座の楽屋によく出入りし、技芸員の方々と気楽にお話をする機会が多くありました(1909～1963年まで松竹が文楽座を経営)。とくに人形遣いの吉田文五郎さんとは家族ぐるみの交流がありました。

また、父は日本画家の先生方とも親交があり、私も日常のなかで絵画や書を見る機会が多くありました。まだ子どもでしたから、その良さを味わうところまではいきませんでした。今にして思えば、そうした経験が日本の伝統文化に関心を持ち、その担い手を応援しようという気持ちにつながっているのだと思います。

とはいえ、今の時代は個人がタニマチになって支援するには限界があります。ですから伝統文化に限らず、さまざまな文化活動を企業がバックアップして盛り上げることが大事だと思います。当社は、1988年よりNHK交響楽団への事業協力として、毎年『N響・夏』を開催し、今年で27年目になります。1988年から

2000年までは、外山雄三先生や池辺晋一郎先生をはじめとする我が国を代表する作曲家に、日本の各地域の伝統メロディーをモチーフにした「ふるさと交響楽」を作曲委託し、当社協賛の演奏会で披露し好評を博してきました。2008年からは、クラシック音楽界の登竜門といわれる『大阪国際室内楽コンクール&フェスタ(日本室内楽振興財団主催)』の支援も行っています。

優秀な人材と日本文化の理解者を輩出

日本で最初にプロパンガスを販売した当社は、「LPガス事業」と酸素や窒素などの「産業ガス事業」を柱として発展してきました。創業者の岩谷直治氏は、そうした当社の成長を支えていただいた社会へ私財の一部をお返ししたいとの思いから、1973年に科学技術庁(現文部科学省)の認可を受けて『岩谷直治記念財団』を設立し、大学や企業のエネルギーや環境に関する優れた研究開発に助成金を出したり、顕著な功績を上げた技術開発を「岩谷直治記念賞」として表彰しています。研究助成に



については、財団設立後41年間で696件にもなります。

また、国際社会の発展と交流を促進する観点で、海外からの留学生に対し、財団から奨学金を給付しています。主に東南アジアからの留学生が多く、現在まで延べ426名に給付してきました。その卒業生の6割ほどは、後年、母国に帰って政府高官や大学教授などの要職に就き、4割ほどが日本で教職に就いたり企業で活躍しています。ちなみに在大阪シンガポール共和国総領事や同国の経済開発庁長官特別補佐官を務められた徐礼信(スィレイ・シン)氏も、当財団の奨学金で留学された一人です。私はこうした優れた人材や日本文化の良き理解者が数多く世界に輩出されることを、とても意義深く思っています。

災害時の緊急要請に応える

現在、当社のプロパンガスは、全国で約310万世帯のお客様にご使用いただいています。そのため当社では、暮らしのエネルギーを守り絶やさないための備えに注力しています。その一つが20年前に発足した『MaruiGas災害救援隊』です。これは当社のLPガス『MaruiGas』のディーラー1400社・約3200名の有資格者による相互支援組織で、地震や水害などが発生した際には、LPガスと生活支援物資を携えて被災地に急行し、支援活動を行なうものです。大雪でLPガスボンベ置き場の屋根が倒壊したという連絡が入れば雪かきに出動するなど、隊員の方々には体を張って尽力していただいています。

また、大規模災害時に備え、カセットこんろとカセットガスの無償供給を目的とした支援基金も設立しています。東日本大震災では、カセットこんろ約2万2000台、カセットガス12万本を提供しました。ボンベを設置すればどこでも使用できるLPガスは、電気や都市ガスが途絶えた場合のライフラインとして、災害時にはとても重宝されます。災害救援隊や支援基金は、そうした期待にお応えするための社会貢献活動のひとつです。

日本発・第二の産業革命

昨年12月、トヨタ自動車株式会社が燃料電池自動車「MIRAI」を発売し、話題になりました。当社は、その燃料となる水素を70年以上前の1941年から製造・販売しています。当初は産業用に限

定されていましたが、近年は「人類の究極のエネルギー」として用途の拡大が期待されています。

そこで当社は、かねてより液化水素の製造能力を高める一方、来たるべき水素エネルギー社会に向けて、さまざまな啓発活動を行っています。2007年には当社所有の燃料電池自動車、水素自動車で、種子島から稚内までの約6000kmを縦断する水素啓発キャラバンを行い、行く先々で小中学校を訪ねて『水素サイエンス教室』を開きました。2010年からは、創業80周年を記念して、当社の企業スローガンである「住み良い地球がイワタニの願いです」から「住み良い地球」をテーマとする『全国小学生作文コンクール(審査委員長・茅陽一東京大学名誉教授)』を開催しています。2014年度はその5回目を迎え、5459点もの力作が集まりました。このコンクールは、次代を担う子どもたちが地球環境を考える機会になると、保護者や学校関係者から大変好評をいただいています。

現在、MIRAIの登場と安倍政権下での規制緩和によって、水素社会の到来に期待が寄せられています。2015年度までに4大都市圏にて100ヶ所の水素ステーション整備を目指し、当社を含めエネルギー関連の企業が建設を進めています。私は、今後さまざまな業種・業界で水素を実用化した製品や技術開発が進めば、日本発の第二の産業革命を起こすことができると考えています。話が大きすぎると言われそうですが、それぐらいの夢と気概を持って、本業にも文化支援にも取り組んでいきたいと思っています。

牧野明次氏

1941年大阪府東大阪市出身。1965年大阪経済大学経済学部卒業後、岩谷産業株式会社入社。2000年同社代表取締役社長を経て、2012年より現職。現在、関西経済連合会副会長、大阪商工会議所常議員なども務める。大阪発の新産業創出を支援する「ベンチャーコミュニティー(1999年設立)」の「大阪美化プロジェクト」の提唱者で、自身も大阪の街路(御堂筋、堺筋、四ツ橋筋周辺)の清掃活動にも参加している。

岩谷産業株式会社

大阪本社：大阪市中央区本町3-6-4 / 東京本社：東京都港区西新橋3-21-8
創業 1930年(設立 1945年)。LPガス、カセットこんろを中心としたエネルギー事業、酸素や窒素などの産業ガス事業を柱に、そこから派生する機械、溶材、マテリアル、食品など幅広い事業を展開。資本金200億9,643万円(2014年4月1日)、売上高7,039億2,300万円(2013年度連結実績)、従業員数1,422名(2014年4月1日)。



N響・夏(2014年)



岩谷直治記念賞贈呈式(2014年)



MaruiGas災害救援隊(2011年)



水素サイエンス教室(2010年)



絹谷幸二氏の絵画をラベルに用いた
同社製品の「富士の湧水」



全国小学生作文コンクール2014
入賞作品集を発行(2014年)

写真提供：岩谷産業株式会社

2014(平成26)年度下半期事業のご報告

関西・大阪21世紀協会は、「交流と助成」「伝統と創造」「発掘と発信」の3つを事業の柱としています。そのなかで平成26年10月～27年3月の間に協会が主催した事業などをご報告します。

交流と助成

日本万国博覧会記念基金事業やアーツサポート関西事業に加え、関西・大阪を拠点に活動するアーティストに発表の場を提供し、さらなる支援・育成の輪を広げます。

ヤノベケンジ氏を審査員に迎えて実施

アートストリーム2014

2014年11月14～16日／大丸心齋橋店

主催：アートストリーム実行委員会

(大阪府、大阪市、大阪芸術大学、関西・大阪21世紀協会)

関西を拠点に活動するアーティストに発表とビジネスマッチングの場を提供する目的で開催され、今年度で14回目。一般公募で選ばれた80名のアーティストが、絵画やオブジェなどの作品の展示・即売を行い、3日間で延べ約3000人の来場者で賑わいました。とくに今回は会場を拡張し、スケールの大きい作品や立体作品が目立っていました。

また、絹谷幸二氏(大阪芸術大学教授・文化功労者)や蓑豊氏(兵庫県立美術館館長)、ヤノベケンジ氏(現代美術家)らの審査で、出展作品のなかからグランプリ他各賞を贈呈しました。なかでも出展者に注目されているのが、2011年に新設された「企業・ギャラリー賞」。副賞として企業の特色を生かした仕事のオファーや、個展の開催権などが授与されます。今年度からは毎日放送の番組の美術セットのデザインや、画材のカワチより、ギャラリー、Webでの展示、巡回展開催権など、新しい企業賞も増え、アーティストにとっては、実績と実益の両方が得られると好評です。

今年度はグランプリ(賞金30万円)が島香澄さん(日本画)に贈られたほか、審査員賞(賞金5万円)5名、企業・ギャラリー賞(18社)がタンザニア出身のマイケル・レヘムさん(関西・大阪21世紀協会賞)ほか14名に贈られました。また、来場者のアンケートでもっとも人気の高いアーティストに贈られる「オーディエンス賞」には、細密な切り絵を制作した下村優介さんが選ばれました。



島香澄さん(展示ブースにて)

「一人の人間のなかにも無数の世界観があることを表現しています。これを機会に個展をさせてくれるギャラリーさんと出会いたい」



マイケル・レヘムさんと作品「ティンガティンガアート」

「故郷タンザニアの自然の美しさを伝えたい。ミラノ国際博覧会(2015年)のタンザニア政府館にも出展予定です」

声楽のたのしみ ～内藤里美 ソプラノの世界～

アート・アSEMBリー

2015年2月20日／クラブ関西

主催：関西・大阪21世紀協会

関西・大阪を拠点に活躍する優れたアーティストのコンサートを鑑賞、直接交流いただく試みとして、今回で5回目を迎えました。今回は、昨年10月4日開催の水上オペラ「大阪城ガラ・ナイト」で好評を得た内藤里美さん(ソプラノ)が出演。松本薫平さん(テノール)の曲目解説で、「宵待草(多忠亮)」「献呈(R. シュトラウス)」「我が母に教えたまいし歌(A. ドボルジャーク)」や、松本さんとのデュエットでカルメンの「手紙の二重奏(G. ビゼー)」「祈り(D. フォスター)」などが披露されました。テーマは「愛」。日本語、ドイツ語、イタリア語、チェコ語、フランス語、英語でさまざまな「愛」が歌われ、約70人の参加者が上質な声楽の世界に魅了されました。ピアノ演奏は、国内外で数々の受賞歴を持つ小柳みさん(関西二期会所属)。公演終了後は、出演者を囲んで交流会が開催されました。



内藤里美さん(右)、松本薫平さん(中央)、小柳みさん(左)



会場風景

2014(平成26)年度 大阪文化祭賞

(P14 でご報告しています)

伝統と創造

大阪城・上町台地エリアを中心に、地域の歴史的資産を活かすことで、創造的な都市文化の魅力を発信。あわせて上方芸能文化の振興・発展を図ります。

ハイレベルな高校吹奏楽の競演

Brass Boot Up! (ブラス・ブーツ・アップ)

2014年10月4日／大阪城公園駅前広場
主催：関西・大阪21世紀協会、大阪城サマーフェスティバル実行委員会
大阪の高校吹奏楽部員による吹奏楽やダンスの競演。箕面自由学園高校、四條畷学園高校、東海大学付属仰星高校、大阪市立扇町総合高校の4校・総勢450人が出演しました。演目には「アナと雪の女王」や「行くぜっ！怪盗少女（ももいろクローバーZ）」など最近流行のナンバーも取り入れ、華麗で迫力のあるマーチング演奏に約4500人の観覧者が聴き入りました。

また、2012年（大阪城西の丸庭園）、2013年（八軒家浜～道頓堀）に引き続き、今回も関西フィルハーモニー首席指揮者の藤岡幸夫氏を音楽監修と指揮に迎えて開催。藤岡氏は、「ここへ来るたび、高校生たちの熱いエネルギーをもらって元気が出る」と語りました。

大阪の高校吹奏楽は全国トップクラスの実力で、2007年までは「御堂筋パレード」が一般市民に向けた発表の機会となっていました。それがなくなった現在、舞台は大阪城へ。主催者の関西・大阪21世紀協会の堀井良殿理事長は、「高校吹奏楽のハイレベルな演奏を市民の皆さんに知っていただきたい、生徒たちもここでの演奏をいい思い出にしてほしい。そして皆と一緒に楽しむことは、まちの活性化にとっても大事」と呼びかけました。これからも、協会はこうした活動をオール大阪で推進できるよう働きかけていきます。



東海大学付属仰星高校吹奏楽部（枚方市）の演奏

親子で体験する講座が好評

インターナショナル ワークショップフェスティバル「DOORS 8th」

2014年8月8～12日／大阪市立芸術創造館、旭区民センター
主催：IWF実行委員会（LLPアートサポート、関西・大阪21世紀協会）

1講座（90分）・ワンコイン（500円）という手軽さが人気を呼び、今回で8年目。今年は「おとなも子どもも」をテーマに、未就学児が受講できる講座も多数開講したことで、親子連れや孫との参加など例年以上に賑わいました。なかでもNHK Eテレの「オフロスキー」でおなじみの小林顕作さんが講師の「絵本ワークショップ」が人気を集めました。さらに、当日参加で楽しめる無料ワークショップ「マジックワークショップ（橋本昌也講師）」をはじめ、絵本制作、楽器演奏、演劇、朗読、ヨガ、講談、能、バレエなど、全99講座が実施され、延べ1436名の参加者が「一度やってみたかった」を実現しました。参加者の男女比は8対2で女性の方が多く、半数が一人での参加。子どもと一緒に楽しむワークショップの数を増やしたことで、アンケート回収の感想量も例年の6倍に増えました。



榎原孝之さんによるシタールの演奏体験



小林顕作さんによる絵本ワークショップ
（写真提供：IWF実行委員会）

大阪城公園で2万人の“光る”ランニング

ELECTRIC RUN (エレクトリックラン)

2014年11月7・8日／大阪城公園
主催：関西・大阪21世紀協会、株式会社ユニバーサル スポーツ マーケティング
大阪城フェスティバルのラストを飾る市民参加イベント。「RUN FOR FUN」をコンセプトに、思い思いの光るグッズを身につけた参加ランナーが、夜の大阪城公園内に設けた約5kmのコースを駆け抜け、日常から離れた雰囲気を楽しみました。株式会社ユニバーサル スポーツ マーケティング（東京）と、関西・大阪21世紀協会が共催しました。

告知には一切の広報印刷物を制作せず、ツイッター、フェイスブックなどのSNSだけの呼びかけで、2日間で2万1000人を集客しました。参加者にはオリジナルTシャツや光るリストバンドなどの特典が付き、多くの仲間と体験を共有できるとあって多くの若者たちで賑わいました。2015年は11月7日（土）、8日（日）に開催予定です。



（写真提供：（株）ユニバーサル スポーツ マーケティング）

水上オペラ「大阪城ガラ・ナイト」

（P11 でご報告しています）

発掘と発信

大阪の歴史的資産や伝統行事の発掘や研究を深めるとともに、広く有識者を交えて関西・大阪が果たすべき文化の諸問題を探り、その成果を発信します。

歴史と文化の宝庫・堺市を訪ねる

南大阪・上町台地フォーラム

2014年9月13日(第2回)、11月24日(第3回)
主催：関西・大阪21世紀協会

フィールドワークによって大阪・上町台地の歴史や大阪のアイデンティティを探る企画。今年度は中世日本の最大の玄関口であった堺市を3回にわたって訪れました(第1回(4月4日)は前号で既報)。

第2回は堺の産業に焦点を絞り、日本ではじめてヒマラヤを越えた僧侶・河口慧海が学んだ寺子屋「清学院」をはじめ、明治時代から続く線香店「薫主堂」や水野鍛錬所(鍛冶工房)、山口家住宅(堺市立町家歴史館)、伝統産業会館などを訪れました。第3回は納屋(呂床)助左衛門の居宅を移したとされる大安寺や重要文化財の仏殿(天井に八方睨みの龍)がある南宗寺、南蛮貿易時代にシャム(タイ)から持ち帰られた降魔釈迦銅像(初公開)のある發光院などを見学しました。



水野鍛錬所にて(第2回)



大阪湾の出入り口を守る「開口(あくち)神社」にて(第3回)

交流サロン 21cafe

2012年ロンドン五輪開催における文化プログラム — そのビジョンと成果

湯浅真奈美氏(ブリティッシュ・カウンシル アーツ部長)

2014年8月25日/中之島プラザ

ロンドン五輪(2012年)の開催にあたって、英国でどのような文化プログラムが実施されたかを、映像や写真、データなどを示して解説。五輪招致決定(2005年)と同時に文化プログラムの検討に着手したことや、「Inspire a Generation」「国民全員が五輪に参加しよう」というスローガンを掲げ、次代を担う若者に大きなインスピレーションとスポーツイベントへの参加を促す取り組みが紹介されました。また、五輪の文化イベントでは「Legacy(遺産)」というキーワードのもと、五輪後に何を残すのが重視されたことや、2020年の東京五輪においても、文化プログラムを推進する人の育成や、それによるさまざまな人々との関係性の構築が必要だと指摘しました。



湯浅真奈美氏

社会を変えるアートのパワー

ヤノベケンジ氏(現代美術作家)

2015年1月26日/中之島プラザ

水都再生のシンボルイベント「水都大阪2009(2009年8~9月)」で、巨大な龍のロボット「ラッキードラゴン」を大川で航行させるなど、大掛かりな作品で知られるヤノベケンジ氏を迎えて実施。ヤノベ氏は、2013年開催の瀬戸内国際芸術祭で、タレントのビートたけし氏とのコラボレーションで小豆島坂手地区に巨大な「水神」を展示し、それが島民の好評を得て「美井戸(ビート)神社」という地域の守り神として常設された話を紹介。また、チェルノブイリ原発事故が発端で制作した「サンチャイルド」を東日本大震災後の福島県で展示して人々を元気づけたこと、水都大阪2009の「ラッキードラゴン」が橋下大阪府知事(当時)をはじめ多くの市民を驚かせたことなど、アートが人々の心を動かし、社会を変える力になる可能性を自身の体験をもとに紹介しました。



ヤノベケンジ氏

江戸時代発祥の華やかな伝統行事

今宮戎神社宝恵駕行列への助成・協力

2015年1月10日／大阪ミナミ

関西・大阪21世紀協会 上方文化芸能運営委員会

今宮戎神社十日戎の奉納行事として、江戸時代からの伝統をもつ宝恵駕(ほえかご)行列。明治以降は花街の誘客手段となり、現在は経済界や地元商店会などの協力により、大阪の新春を彩る恒例行事となっています。

今年は芸妓代表の佳世子さんを先頭に、文楽人形遣いの桐竹勘十郎さん、歌舞伎俳優の中村鴈治郎さん、日本舞踊山村流宗家の山村友五郎さん、OSK日本歌劇団トップスターの高世麻央さん、芸能生活50周年を迎えた坂田利夫さん、NHK連続テレビ小説「マッサン」に出演中のシャーロット・ケイト・フォックスさんらが宝恵駕に乗り、「ほえかご、ほえかご」のかけ声とともに、道頓堀から今宮戎神社までの道のりを約2時間かけて練り歩きました。協会の上方文化芸能運営委員会は、宝恵駕行列を主催する宝恵駕振興会実行委員会の役員を務め、その実施運営に携わっています。



佳世子さん(今宮戎神社にて)

無病息災・商売繁盛を祈願

堂島薬師堂節分お水汲み祭り

2015年2月3日／堂島薬師堂および周辺

主催：堂島薬師堂節分お水汲み祭り実行委員会

奈良・薬師寺の僧侶が祈祷したお香水(こうずい)を竹筒護符に汲み、無病息災や商売繁盛を祈願する早春行事で、今年12回目。堂島薬師堂(大阪市北区)で奈良薬師寺の山田法胤(ほういん)管主による節分法要と「お水汲み」の儀式が行われ、隣接する堂島アバンザ会場で薬師寺僧侶による「声明(しょうみょう)」が披露されました。同会場では、参列者に代わって、文楽人形遣いの桐竹勘十郎さんが「曾根崎心中」のお初人形を遣い、山田管主から竹筒護符にお香水を受けました。さらに、北新地芸妓衆による奉納舞や北新地ホステスらによる「お化け(仮装)」なども行われ、多くの人が北新地ならではの華やかな祭事を見物しました。その後行なわれた「龍の巡行」では、桐竹勘十郎さんとお初人形をはじめ総勢150名におよぶ大行列が、夕暮れの北新地本通を練り歩きました。当協会の堀井良股理事長は、この行事の共同実行委員長を務めています。



山田法胤管主からお香水を受ける
桐竹勘十郎さんとお初人形(堂島アバンザ会場)

伝統芸能「神楽」を楽しむ

日本の文化に親しむ「花の賑わい」

2015年3月3日／国立文楽劇場

主催：関西・大阪21世紀協会 上方文化芸能運営委員会

日本の伝統芸能を身近に楽しんでいただく企画。今回は、伝統芸能番組を数多く手がけてきた葛西聖司氏(元NHKアナウンサー)の案内で、野口さやかさん(関西雅楽松風会)による女性的な美しさで知られる浪速神楽「花湯」と、石見神楽久々茂保存会による絢爛な衣装と男性的な勇壮さが特徴の「大蛇」を楽しみました。また、歌舞伎界より市川猿之助さんによる舞踊・清元「流星」では、七夕の晩に年に一度の逢瀬を楽しんだ牽牛と織姫や、雷の夫婦喧嘩など、一人四役を踊り分ける洒落な舞で観客を魅了。さらに京都宮川町芸妓・舞妓による舞踊・長唄「太秦詣」や上方舞・手打詩「梅の小袖」も披露され、観客は多彩な趣向と華麗な踊りを間近で楽しみました。



野口さやかさんによる浪速神楽「花湯」
(photo©越田悟全)

山岸晃氏(近畿財務局)が関西の経済動向を講演

賛助会員様事業報告・講演会・交流会

2015年1月19日/クラブ関西

主催：関西・大阪21世紀協会

当協会の賛助会員様に向け、2014(平成26)年度の事業報告を行うとともに、財務省近畿財務局総務部長の山岸晃氏を迎え、「新年にあたって、日本と関西の経済動向等について」をテーマに講演を行いました。

冒頭、堀井良殷理事長は、「安倍政権のもと地方創生が重視されるなか、地方の伝統や文化を経済発展に活かすことが重要課題となっている。もとより当協会は、設立以来、文化の力で地域を活性化させる活動を続け、一定の成果を出しつつある」と述べ、佐々木洋三専務理事が平成26年度の協会事業を1時間にわたり詳しく報告しました。

また、講演会で山岸氏は、「アベノミクス効果を確認なものとするため、生活者・事業者支援、エネルギーコスト対策、地方の活性化、災害・危機等への対応を主軸とする『地方への好循環拡大に向けた緊急経済対策』に2014年度補正予算がついた。これは2015年度に向けた息の長い取り組みである」とし、「地方創生は、ものづくり企業が集積し、アジアとの関係が強く、長い歴史と文化を誇る関西・大阪の頑張りにかかっている。近畿財務局もできる限り応援したい」と力を込めました。

講演後の交流会では、会員企業の方々と共に、和やかな雰囲気の中情報交換が行われました。



山岸晃氏



実施風景

上方伝統芸能の慶事

 中村翫雀さんが
 四代目中村鴈治郎を襲名

歌舞伎俳優・中村翫雀さんの四代目中村鴈治郎襲名を祝し、昨年11月27日、関西各界のリーダー48名が発起人となって襲名披露パーティーが開催されました。会場のリーガロイヤルホテル(大阪)には、翫雀さんご夫婦と扇雀さん、壱太郎さん、虎之介さん、ご両親の坂田藤十郎さん、扇千景さん、中村玉緒さん(坂田藤十郎さんの妹)と、ファミリーが勢揃い。翫雀さんはお祝いに駆けつけた約800人を前に、「鴈治郎の名跡を継ぐと同時に、上方歌舞伎、大阪文化の隆盛につながっていけば、これほど嬉しいことはない」と謝辞を述べました。その後、京都五花街の舞妓たちの祝舞で盛り上げ、同会の代表発起人の一人である熊谷信昭関西・大阪21世紀協会会長らによる鏡開きで乾杯が行われました。



会場風景

四代目
中村鴈治郎さん4月に吉田玉男を襲名する吉田玉女さん
(写真提供：国立文楽劇場)

吉田玉女さんが二代目吉田玉男を襲名

文楽人形遣いの吉田玉女さんが、今年4月に師匠の故吉田玉男さん(人間国宝)の二代目を襲名することとなりました。

玉女さんは1968(昭和43)年に初代吉田玉男さんに入門。翌年、師匠から早く男になるようにと「玉女」の名をもらい、初舞台に立ちました。以来47年、関西芸術大賞ゴールデン賞(1993年)、国立劇場文楽賞文楽大賞(2013年)、日本芸術院賞(2014年)など、受賞歴も多数。昨年は、アーツサポート関西の助成第1号となった学生対象の「ワンコイン文楽」のセミナーでも講師を務めました。

今年1月27日、関西・大阪21世紀協会(アーツサポート関西事務局)へ挨拶に訪れた玉女さんは、「今後も基本に忠実という師匠の言葉を忘れず、偉大な師匠の芸の高みに向かって精進したい」と決意を示しました。襲名披露は、国立文楽劇場(大阪)の4月公演(4月4日~26日)にて行われます。

文化事業(新規)

第16回北前船寄港地フォーラム in 大阪

主催：北前船寄港地フォーラム in 大阪実行委員会
実施時期：平成27年7月17・18日
場所：太閤園(旧藤田邸)
※詳細は裏表紙をご覧ください。

助成事業

日本万国博覧会記念基金事業

募集期間：平成27年7～9月(平成28年度分)
※P1～3に平成27年度の助成内容を掲載しています。

アーツサポート関西

助成対象募集：平成27年10～11月(平成28年度分)
※P5～7に平成27年度の助成内容を掲載しています。

文化事業(継続)

大阪文化祭賞

主催：大阪文化祭実行委員会
(大阪府、大阪市、関西・大阪21世紀協会)
賞贈呈式：平成28年2～3月(実施場所は未定)
※P14に平成26年度の実施状況を掲載しています。

アート・アSEMBリー

主催：関西・大阪21世紀協会
実施時期：平成27年5～6月(実施場所は未定)
※P17に平成26年度の実施状況を掲載しています。

アートストリーム2015

主催：アートストリーム実行委員会
(大阪芸術大学、大阪府、大阪市、関西・大阪21世紀協会)
実施時期：平成27年秋(実施場所は未定)
※P17に平成26年度の実施状況を掲載しています。

ミナミ上町台地調査・研究

主催：関西・大阪21世紀協会
実施時期：平成27年春～秋(3回程度)
実施場所：富田林市および周辺を予定
※P19に平成26年度の実施状況を掲載しています。

21cafe

主催：関西・大阪21世紀協会
実施時期：通年(4回)(実施場所は未定)
※P19に平成26年度の実施状況を掲載しています。

関西・大阪文化力会議(検討中)

国内外の有識者を招き、文化立国の視点で、関西・大阪の果たすべき役割などの議論を深め提言を行います。

平成 OSAKA 天の川伝説2015

主催：平成 OSAKA 天の川伝説実行委員会
(事務局：関西・大阪21世紀協会)
実施時期：平成27年7月7日
実施場所：大川(天満橋～北浜周辺)



インターナショナルワークショップフェスティバル「DOORS」

主催：IWF 実行委員会
(LLP アートサポート、関西・大阪21世紀協会)
実施時期：平成27年8月12日(水)～18日(火)(予定)
実施場所：大阪市立芸術創造館ほか
※P18に平成26年度の実施状況を掲載しています。

大阪城フェスティバル2015(検討中)

主催：大阪城サマーフェスティバル実行委員会
(事務局：関西・大阪21世紀協会)
実施時期：平成27年7～11月
実施場所：大阪城および周辺エリア

無形文化財の保護・育成事業

住吉大社御田植神事

(平成27年6月14日・住吉大社)



住吉大社
御田植神事

今宮戎神社宝恵駕行列

(平成28年1月10日・平成26年度の実施状況はP20に掲載)

伝統文化の公演など(検討中)

季刊誌「やそしま」の発行



平成26年11月発行
季刊誌「やそしま」第8号
(A5判・170頁)

※上記事業は一部であり、これ以外に「関西国際空港での映像発信」や「御堂筋でのバナー掲示」などの事業も行う予定です。
※各事業は予定であり、予告なく変更することがあります。
※上記は2015(平成27)年2月28日現在の事業予定です。



現代版北前船で拓く新たな観光ネットワーク

第16回 北前船寄港地 フォーラム in 大阪

江戸時代、大阪から北海道まで日本海と瀬戸内海を往復し、大阪の経済発展の原動力となった北前船。その寄港地を巡るリレーフォーラムが、大阪で開催されます。これまで東北地方で開催されていましたが、今回は昨年の京都(宮津)からバトンを受け、西日本も含め、初めてすべての寄港地が集合。北前船の歴史的遺産を活かした「広域観光」の取り組みについて考えます。

2015(平成27)年

7月17日 金 13時開場・13時30分開演(予定)
太閤園(大阪市都島区網島町9-10)

- ◆**基調講演**
 - ・石川好(ノンフィクション作家)
 - ・銭谷真美(東京国立博物館館長、元文部科学省次官)
- ◆**フォーラム**
 - ・日本遺産100選と北前船寄港地文化
 - ・北前船寄港地を巡る旅
- ◆**懇親会**
 - ※会場ロビーで各寄港地提供による物産展を併催予定

7月18日 土 ◆**エクスカーション** 八軒家浜から市内河川回廊を船で遊覧

■主催

北前船寄港地フォーラムin大阪実行委員会

特別顧問：二階俊博(全国旅行業協会会長、自民党総務会長)／顧問：田川博己(日本旅行業協会会長、JTB代表取締役会長)、大橋洋治(ANAホールディングス取締役会長)／委員長：佐藤茂雄(大阪商工会議所会頭)／副委員長：佐々木隆之(JR西日本取締役会長)、堀井良殷(代表幹事兼務[関西・大阪21世紀協会理事長])／委員：大阪商工会議所、関西経済同友会、関西・大阪21世紀協会、大阪観光コンベンション協会、JR西日本、ANA、日本航空、近畿日本鉄道、阪急電鉄、京阪電気鉄道、南海電気鉄道、阪神電気鉄道、JTB西日本、日本旅行、KNT-CTホールディングス、郵船クルーズ、ロイヤルホテル、ニュー・オータニ、帝国ホテル、鴻池運輸、藤田観光

■後援(予定)

国土交通省(観光庁、近畿運輸局)、経済産業省(近畿経済産業局)、関西広域連合、大阪府、大阪市、関西経済連合会、日本観光振興協会、大阪観光コンベンション協会

※プログラム等は予定であり、予告なく変更することがあります。
※参加お申し込み等、詳細は関西・大阪21世紀協会までお問合せください。

お問合せ

公益財団法人 関西・大阪21世紀協会 文化事業部・北前船寄港地フォーラム担当
☎06-7507-2006 FAX06-7507-5945



関西・大阪21世紀協会賛助会員
入会のお願い

関西・大阪の活性化のため、皆様のご支援をお願いします。

会費(何口からでも結構です)

- 法人会員一口につき年会費10万円
- 個人会員一口につき年会費1万円

特典

- 1.協会が発行する刊行物の配布
- 2.協会が主催する各種セミナーなどへの案内
- 3.賛助会員の参考となる情報・資料の提供など

お問合せ(公財)関西・大阪21世紀協会 総務部